

進路だより



福島県立相馬支援学校
進路指導部
令和6年9月12日発行

夏季休業中の取り組みについて紹介します

「新地町・相馬市・南相馬市福祉サービス説明会」

7月25日は新地町・相馬市、26日は南相馬市の福祉サービス事業所説明会を行いました。25日は、保護者、本校教員に加え、相馬地方特別支援教育研究会の会員（小・中学校教員）も参加しました。

新地町・相馬市は、各事業所について動画で紹介を行い、南相馬市は、各事業所、方針や大事にしていることを伝えて頂き、とてもわかりやすい内容の説明となりました。



〈福祉課、相談支援ブース〉



〈相馬市・スマイルセンターの説明〉



〈南相馬市・ほっと悠〉



〈事業所の販売〉

2日間、相談支援事業所についての説明があり、障がい福祉課と相談支援事業所のブースがあったことで、手続きや相談支援に関して直接質問することができ、困っていることや今後のことについて共通理解を図る場となりました。各事業所のブースでは、保護者の方や、教員の質問に詳しく答えて頂き、様々な事業所を詳しく知り、卒業後の進路先を考える機会となりました。事業所の皆様、ありがとうございました。

最後に、事業所によっては販売会も行いました。利用者の方が販売し、事業所の製品を知る機会となり、充実した機会となりました。

「第12回特別支援学校作業技能大会」

令和6年7月31日(水)、ビッグパレットふくしまにて開催された「第12回特別支援学校作業技能大会」に高等部の生徒15名が参加しました。今年度は、「喫茶接客サービス」、「店舗販売」、「作業製品の品評」の3部門に参加しました。当日は、緊張しながらも、真剣な表情で取り組み、練習の成果を多くの観客の前で発揮することができました。今回の大会で得たものをこの後の学校生活や将来に活かしてほしいと思います。



〈喫茶接客サービス部門〉

丁寧な接客とテキパキとした動きを心掛けて頑張っていました。終了後に生徒達は、「とても緊張しました。」と話していました。



〈店舗販売部門〉

一つ一つ商品の賞味期限を確認し、正しく並べ替える作業はとても集中力が必要でした。生徒たちは大勢の人が見学するなかで自分の力を発揮することができました。



陶芸班 タンブラー 金賞受賞

〈品評部門〉

作業製品のPR活動を行いました。総勢7名で寸劇を交えながら面白く、分かりやすく製品の良さをPRすることができました。生徒たちは緊張しながらも堂々と発表する姿が印象的でした。

「高等部卒業後のアフターケア」

「アフターケア」は、卒業生に対する卒業後支援を積極的に行い、職場勤務や福祉サービス事業所での生活の定着を図ります。その期間は、2年間を目安としています。

夏季休業中、令和4年度、令和5年度の卒業後の進路先である職場や福祉サービス事業所に高等部教員が訪問しました。担当者から本人の様子を伺ったり、本人から頑張っていることなどをお聞きしたりしました。卒業生それぞれが働く場や生活する場で様々なことを学びながら社会生活を頑張っている様子がわかりました。

